

基本方針Ⅳ	1 学びのきっかけとなる機会を提供する
-------	---------------------

重点事業2	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進		所管課	生涯学習総務課・図書館	
事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
活動指標	指標	目標値(2023年度)		目標値(目標達成年度)	
	出張事業(展示・イベント・講座等)の実施件数	40件		40件(2023年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		

2023年度の計画に対する達成状況	A 計画以上に目標を達成した
2023年度の取り組み状況	町田市の考古・歴史・民俗資料及び文学に関する出張事業、高齢者福祉施設・子どもセンターでの出張展示や市内の学校への出張授業等を86件実施して目標を大きく上回ったため、A評価としました。 ・考古・歴史・民俗資料に関する事業では、講座、出張授業、アウトリーチ展示など、62件の事業を実施しました。自由民権資料館主催講座では、多様な形式(「講義型」「セミナー型」「ワークショップ型」など)で、考古・歴史・民俗のプログラムを用意したことから、新規利用者の獲得につながりました。地域の歴史に関する小中学校向け出張授業では、より学校側のニーズに沿った授業内容となるよう、教員やボランティアコーディネーターへのヒアリングを実施し、2024年度からの内容の充実に努めました。 ・文学に関する事業では、ショートショート書き方講座、ショートショートコンクール受賞作品出張展示、キャリア教育授業、町田ゆかり作家紹介授業、遠藤周作展PR展示、遠藤周作展関連イベント、他課主催の講座への講師派遣など、24件の事業を実施しました。
課題及び今後の取組の方向性	継続 【課題】 ・小中学校向け出張授業を各学校でさらに活用してもらうため、授業内容の充実とともに、担当する職員のスキルの向上及び平準化が求められます。 ・小中学校で出張授業を継続的に行うためには、学校側のニーズの把握、教員との良好な関係構築の他、授業の効果・メリットをアピールすることが重要です。 【今後の取組の方向性】 ・児童・生徒が、町田市の歴史や文化について自らもっと学びたいと思えるようにするため、デジタルコンテンツの活用や「ことばらんどショートショートコンクール」と連動させるなど、出張授業の内容充実・継続実施に取り組みます。 ・幅広い年齢層に事業を知ってもらえる出張展示を検討します。 ・玉川大学との協働により作成した文学ガイドブック「町田ブンガク」を活用して町田ゆかり作家や町田が登場する作品についての出張授業を実施します。

基本方針Ⅳ	2 学習を”広げる・深める”を支援する
-------	---------------------

重点事業2	町田の歴史情報の提供	所管課	生涯学習総務課
事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「 <u>町田デジタルミュージアム</u> （*）」を構築し、公開します。		
活動指標	指標	目標値(2023年度)	目標値(目標達成年度)
	町田デジタルミュージアム構築の進捗	240,000件(年間アクセス数)	システム構築完了・公開(2022年度)
工程表	2019年度	2020年度	2021年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開
	歴史コンテンツ編集		公開・利用促進

2023年度の計画に対する達成状況	A 計画以上に目標を達成した
2023年度の取り組み状況	2023年4月1日から2024年3月31日までの町田デジタルミュージアムのアクセス数が553,360件となり、目標値を大きく上回ったため、A評価としました。 ・自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの展示や出張事業を実施する際には、町田デジタルミュージアムの二次元コードを様々な場面で活用し、周知を図りました。 ・町田デジタルミュージアムを紹介する名刺型カードや、町田デジタルミュージアムの二次元コードが記載された「遺跡マップ」を町田ツーリストギャラリーなどで配布しました。 ・地域の歴史に関する小中学校向け出張授業では、タブレット端末を使って町田デジタルミュージアムの活用を図りました。
課題及び今後の取組の方向性	継続 【課題】 ・町田デジタルミュージアムの利用状況を検証し、公開内容の更新に向けた検討が必要です。 ・町田デジタルミュージアムをより多くの方に利用していただくための周知が必要です。 【今後の取組の方向性】 ・まちだの歴史に関する展示やイベント等実施時には、町田デジタルミュージアムを積極的に活用します。 ・2025年度の町田デジタルミュージアムの内容更新に向けた検討を行います。

基本方針Ⅳ	3 学習成果を活かす機会を充実する
-------	-------------------

重点事業2	協働による研究・発表の推進		所管課	生涯学習総務課・図書館			
事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらいことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。						
活動指標	指標		目標値(2023年度)		目標値(目標達成年度)		
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		①8事業		①8事業(2023年度)		
	②研究発表会等の実施回数		②実施		②毎年度実施(2023年度)		
工程表	2019年度		2020年度		2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行						
	企画展・研究発表会検討			企画展・研究発表会実施			

2023年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した
2023年度の取り組み状況	研究成果物の作成に向けた事業数が8事業となり、目標値に達したため、B評価としました。 ・地域で歴史を研究する団体が定期的に活動できるように支援を継続し、資料集刊行に向けた解説を継続して「晴雨日記2」を刊行するための準備が整いました。優先的に整理が必要であると選定した重要史料群4家の整理についても研究団体の協力を得ながら進めました。また、2021年度の自由民権カレッジ卒業生(4期生)と協働で開催した企画展では448人もの来館者を得ることができ、特に卒業生によるギャラリートーク開催日には多くの市民が来館されました。 ・玉川大学と町田デザイン＆建築専門学校の学生とともに中学生向け文学ガイドブック「町田ブンガク」を完成させました。 ・玉川大学の学生とともに「町田ブンガク」を活用した出張事業を2回行いました。 ・町田デザイン＆建築専門学校の学生と協働しポプリホール及び町田市立中央図書館にて出張展示「ことばらんどショートショートコンクール受賞作品展」を実施しました。
課題及び今後の取組の方向性	継続 【課題】 ・地域で歴史を研究する団体を支援するとともに、より多くの学習機会を提供するため、その学習するための資料となる史料整理を進める必要があります。 ・「町田自由民権カレッジ」の卒業生による団体との協働事業については、協働事業の維持・継続の手法もしくは改編の検討を視野に入れる必要があります。 ・「町田ブンガク」を広く活用してもらえよう、PRすることが必要です。 ・「町田ブンガク」の事業は完了したので、新たな事業の検討が必要です。 【今後の取組の方向性】 ・地域の歴史研究をする団体の活動を支援し、解説作業、重要史料群をはじめとする史料整理・目録作成作業を継続して行います。 ・「町田ブンガク」を活用した町田ゆかり作家や町田が登場する作品についての出張授業を行います。 ・学生たちとの新たな協働事業を検討します。

基本方針Ⅳ	4 学習を支える環境づくりを進める
-------	-------------------

重点事業3	文化財の保存と活用環境の整備		所管課	生涯学習総務課	
事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
活動指標	指標		目標値(2023年度)		目標値(目標達成年度)
	高ヶ坂石器時代遺跡整備の進捗		牢場遺跡買収地整備工事		八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本計画(2023年)
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計、ガイダンス施設基本計画	八幡平遺跡公開・見学会実施	高ヶ坂石器時代遺跡見学会実施	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本計画

2023年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した
2023年度の取り組み状況	2018年度に取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施・完了し、2024年2月から公開を開始しました。当初の目標を達成したため、B評価としました。 ・整備状況をホームページで紹介しました。 ・整備工事完了後に高ヶ坂遺跡見学会(まち歴第10回「高ヶ坂石器時代遺跡～山本亀三が見た町田の遺跡～」)を実施しました。
課題及び今後の取組の方向性	継続 【課題】 ・未整備箇所の整備が必要です。 ・文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信等により遺跡の認知度を高める必要があります。 【今後の取組の方向性】 ・八幡平遺跡の整備工事(植栽等)を実施します。 ・整備工事完了後に遺跡を活用したイベントを実施します。 ・高ヶ坂石器時代遺跡の整備工事完了に向け整備報告書を作成します。 ・2025年度には「高ヶ坂石器時代遺跡発見100周年」のイベントを実施するなど、遺跡の魅力を積極的に発信していきます。